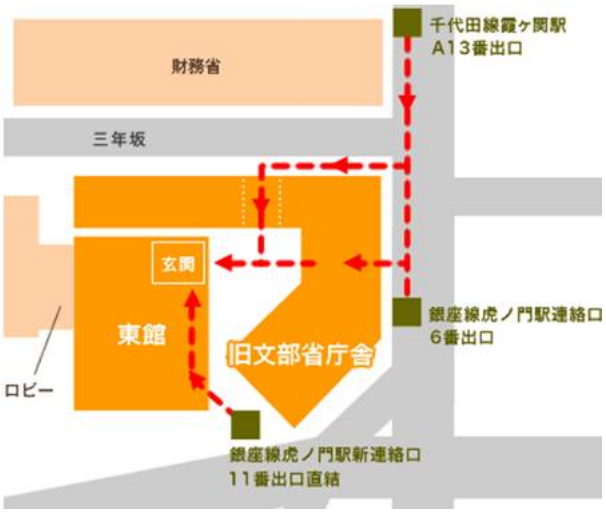
【5.23 文部科学省 包囲・要請行動＆院内集会】

子ども20ミリシーベルトを撤回せよ！
福島の子どもたちを守れ！

2011年5月23日（月）集合13:00＠文科省前

あまりの事態に、福島の親たちが立ち上がりました！
福島からバスを仕立てて乗り込みます。
福島の子どもを守るために文科省を包囲しましょう！

【文科省前要請行動】
13:00　集合　場所：文部科学省前
東京都千代田区霞が関3-2-2（最寄駅：虎の門、霞が関）
13:30 文部科学大臣への要請（交渉中）（文科省外にて）要請行動
15:30～16:30 【院内集会】
場所：参議院議員会館　講堂
16:30～17:00 【記者会見】
場所：参議院議員会館　講堂



4月19日、文部科学省は、学校等の校舎・校庭等の利用判断における放射線量の目安として、年20ミリシーベルト、屋外において3.8マイクロシーベルト／時という基準を、福島県教育委員会や関係機関に通知しました。3.8マイクロシーベルト／時は労働基準法で18歳未満の作業を禁止している「放射線管理区域」（0.6マイクロシーベルト／時以上）の約6倍に相当する線量です。基準を現実の合わせて引き上げたこの決定は、行政の都合で、不必要な被ばくを子どもたちに強いるものです。

高まる批判の声に、原子力安全委員会は、「20ミリシーベルトを基準として認めていない。また、どの委員も専門家も安全ともしていない」と発言し、政府の意思決定の根拠は極めてあいまいな状況となっています。

この日本政府の決定に、国際的にも国内的にも、非難の声があがっています。

また、福島の親たちも、撤回に向けて、立ち上がりました。みんなで声を合わせて、20ミリを撤回させましょう！　福島の子どもたちを守りましょう！

【主催】子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク
【共催】グリーン・アクション、原子力資料情報室、福島老朽原発を考える会（フクロウの会）、
美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）、国際環境NGO FoE Japan
【協力】脱原発と新しいエネルギー政策を実現する会（eシフト）、
プルトニウムなんていらないよ！東京
【問合せ】 福島老朽原発を考える会 TEL.03-5225-7213／携帯 090-8116-7155（阪上）
子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク事務局 TEL.024-523-5238／080-1678-5562（中手）